

図書館催し物予定（11/15～12/15）

中央図書館	第一図書館	第二図書館	第三図書館	第四図書館	iプラザ図書館
稲城市向陽台4-6-18 TEL：042-378-7111 FAX：042-378-7162	稲城市東長沼2111 TEL：042-377-2123 FAX：042-378-9612	稲城市矢野口1780 TEL：042-377-1866 FAX：042-377-1866	稲城市平尾1-20-5 TEL：042-331-1439 FAX：042-331-1439	稲城市東長沼271 TEL：042-378-2401 FAX：042-378-2401	稲城市若葉台2-5-2 TEL：042-331-1731 FAX：042-331-1716
開館時間／9:00～20:00	開館時間／10:00～17:00				開館 9:00～ 時間 20:00

読み聞かせ行事については図書館のホームページでお知らせします。

展示予定（11/27まで）

・特集コーナー

「教えて!! みんなのヒーロー、ヒロイン!!!」

・インナーコリドー

「スタッフおすすめ資料」

・児童室

「いろんな道具」とくしゅう

・AV架

DVD展示「旅へ行きたくなる!」

11月、12月の休館日

中央図書館

毎月第4月曜日

11月:28

12月:26・30～1/3

第一～第四図書館

毎週月曜日・祝日

11月:3・7・14・21・23・28

12月:5・12・19・26・28～1/4

iプラザ図書館

毎月第2・第4月曜日

11月:14・28

12月:12・26・29～1/3

※中央図書館・iプラザ図書館ともに、月曜日が祝日の場合は翌火曜日を休館日といたします。

中央図書館

12月映画会（一般向け）

12月3日（土）午後2時～
「人生、いろどり」
※聴覚障害者対応日本語字幕付き
上映時間 114分

12月28日（水）午後2時～
「巴里のアメリカ人」
上映時間 113分

時間 開場 午後1時45分
上映 午後2時～

会場 城山体験学習館・視聴覚室
（中央図書館併設）

対象 一般 各回44人

申込方法 中央図書館のカウンターまたは
電話・メールで受付。

問合せ 中央図書館 ☎ 042-378-7111
inagilib@library.inagi.tokyo.jp

いなぎ多読らぶ

中央図書館では、毎月第二土曜日に英語多読を楽しむためのサークルを開催しています。

たくさんの方のご参加をお待ちしております！

※途中入室・退室可能

日時 12月10日（土）
午後2時～午後4時

会場 城山体験学習館・視聴覚室
（中央図書館併設）

☆申込みは不要です。
直接会場にお越しください。

問合せ 中央図書館 ☎ 042-378-7111

編集後記

ひばり第197号をお読みいただきありがとうございます。次号では毎年恒例の図書館でもっともたくさん読まれた本をランキング形式で紹介する「ベストリーダー」の記事を掲載する予定です。ちなみに2021年にもっとも読まれた小説は第163回直木賞を受賞した馳星周の『少年と犬』でした。みなさんのお気に入りの本はランクインするでしょうか。乞うご期待。

- ▶ 音声版「ひばり」は、図書館ホームページのメニュー「図書館だより」からご利用になれます。
- ▶ 音声版「ひばり」CDをご希望の方は、中央図書館にご連絡ください。

ひばりと
合わせて
ご覧ください！



稲城市立図書館 HP



Twitter



Facebook



note

いなぎ図書館だより



ひばり

第197号

令和4年11月15日

稲城市立図書館

<http://www.library.inagi.tokyo.jp/>



読み聞かせボランティア「ひよこ」 制作ボランティア「みかん」

募集!

図書館で読み聞かせや、おはなし会等で使う布芝居・大型紙芝居の制作をしてみませんか？

図書館の児童サービスボランティアには

読み聞かせボランティア「ひよこ」と制作ボランティア「みかん」の二つのグループがあります。

興味のある方は説明会にご参加ください。

説明会

期日 12月16日（金）

申込方法

市内各図書館のカウンターまたは電話で受付。
募集要項、説明会参加申込書等は市内各図書館で配布しているチラシをごらんください。

時間 午前10時～ 制作ボランティア「みかん」
午前11時～ 読み聞かせボランティア「ひよこ」

会場 城山体験学習館・視聴覚室（中央図書館併設）

活動内容



読み聞かせボランティア「ひよこ」

市内の図書館で行われている「おひざにだっこのおはなし会」や「えほんのじかん」「おはなし会」等で読み聞かせをしています。
隔月で定例会を行い、レベルアップのための勉強会やボランティア同士の交流をしています。



制作ボランティア「みかん」

読み聞かせ行事で使う布芝居や大型紙芝居などを制作します。
月2回、城山体験学習館で作業をしています。



問合せ 第四図書館 ☎ 042-378-2401



第三図書館

雑誌・図書リサイクル会

期日 11月26日（土）

図書館で除籍した雑誌や図書を、無償配布します。

会場

第三文化センター



整理券配布

11月18日（金）～ なくなり次第終了

時間

午前10時～午後3時

配布場所

第三図書館

※午前10時～11時の入場には、事前に配布する整理券が必要です。
※整理券は来館者1人につき1枚配布。

※持ち帰り袋は、各自ご用意ください。



問合せ 第三図書館 ☎ 042-331-1439



こどもこうさくかい

～パタパタえほんをつくろう～

くるくる絵が変わる「パタパタえほん」をつくってみよう。

中央図書館

期日

12月11日(日)

時間 午後2時～3時30分

会場 城山体験学習館・視聴覚室(中央図書館併設)

定員 20人(先着順)

対象 小学生
※はさみを使用するため、小学2年生以下は保護者同伴。
※子ども1人に対し、付き添いは1人まで。

持ち物 はさみ・筆記用具・色鉛筆やマジックなど(色をつけられるもの)



申込方法

11月15日(火)から、中央図書館のカウンターまたは電話で受付。

問合せ

中央図書館 ☎042-378-7111



ハッピーマンデー

借り放題

中央図書館

期日

12月12日(月)

中央図書館限定で本やAV資料が借り放題になります。

※貸出期間は平常通り2週間です。

※予約点数は変わりません。(本10冊・AV資料2点)

※持ち帰り用の袋は用意しておりません。各自でご持参ください。

※本イベント終了後に図書10冊、AV資料2点以上お借りの方は、どちらかが点数を超えている間は、新たに借りられません。

※上記イベント開催中は中央図書館での当日取り置きができません。




巡回資料展示会

本で楽しむ

アートの世界

～あなただけの美術館を見つけませんか?～

図書館が所蔵している美しい美術の本を集めて展示します。

展示資料は全て貸し出しできます。ぜひ、お手に取ってご覧ください。



巡回資料展示会

会場	展示期間
第四図書館	11月1日(火)～27日(日)
第二図書館	12月1日(木)～25日(日)
第一図書館	令和5年1月5日(木)～25日(水)
iプラザ図書館	2月1日(水)～26日(日)
中央図書館	3月1日(水)～26日(日)

▶ 問合せ 第三図書館 ☎042-331-1439



大人の一日図書館司書

図書館司書のいろいろなお仕事を、楽しみながら体験できる講座です。

シニア世代限定・お仕事体験講座

期日 12月9日(金)、12月10日(土)

時間 午前10時～午前11時30分

会場 中央図書館

対象 シニア世代の皆さま
※講座の際着用するエプロンは、図書館でご用意します。

定員 6人(先着順) ※各日3人



◆ 申込方法 ◆

11月15日(火)から、中央図書館のカウンターまたは電話・メールで受付。

◆ 問合せ ◆

中央図書館 ☎042-378-7111
✉ inagilib@library.inagi.tokyo.jp

「nakanohito」

第31弾

このコーナーでは私たち図書館の“nakanohito(中の人)”がオススメ本の紹介やコラム、エッセイをお届けします。

今読んでいる本を紹介したいと思います。東川篤哉のミステリー小説『仕掛島』です。東川篤哉といえば『謎解きはディナーのあとで』が有名です。テレビドラマや映画化もされているのでご存知の方も多いのではないのでしょうか？軽妙な筆致で読みやすく、休憩も忘れて読みふけてしまいます。本の装丁もポップなイラストのものが多く自分好みです。書店などで手に取って、「これも東川篤哉だったか…」と思うことがよくあります。

その点今回の『仕掛島』は少しちがいます。海から突き出た牙のような孤島、斜島(ななめじま)とそこに向かう一艘の船のイラスト。それだけです。見た目は硬派なミステリー小説然としています。ストーリーもまさに王道ミステリーというべき内容です。岡山の名士が遺した遺言状により瀬戸内海の孤島・斜島に集まった面々。遺言状が読み上げられた翌日に相続人の1人が…、その上台風の影響で島から出ることも、警察を呼ぶこともできない。ミステリー好きとしては垂涎ものの状況です。

そんなTHEミステリーな舞台を、東川節と言うべき軽快、軽妙、軽率!?な文章でクセのある登場人物たちが躍動しています。まだ全体の半分ほどを読んだだけですが犯人とそのトリックが気になってしかたありません。みんなで感想を話し合ったら楽しいだろうな、と思える一冊です。それでは謎が謎を呼ぶ、怒涛の後半戦を読み進めたいと思います。